

- 品番** LGWC40001KLE1 (拡散・プラチナメタリック)
 LGWC40002ZLE1 (拡散・シルバーメタリック)
 LGWC40003KLE1 (拡散・オフブラック)

- お客様へ** 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。
- 工事店様へ** 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。施行説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障生じた場合には、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

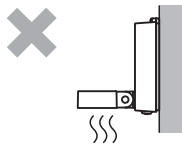
■取付面

●次のような場所には取り付けない

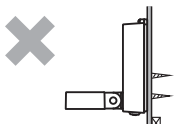
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

浴室などの湿気が多い場所

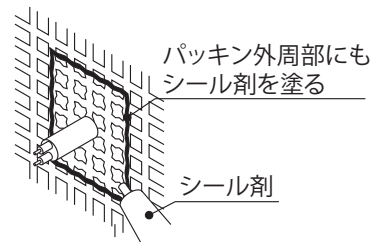
補強のない場所
(ベニヤ板や石こうボードなど)



取付面がパッキンより小さい場所



据置取付



●取付面と取付パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシーリング剤を塗る

取付面と取付パッキンとのスキマを防水シーリング剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

◎シーリング剤が水抜き穴をふさがないようにしてください。守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。

◎この器具は防雨型、壁面取付専用器具です。

■その他



●接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に
 行い 接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。



●器具の取り付けは、説明書に従い確実に
 行い 取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

警告 (つづき)

■その他



必ず守る

- 電源線は端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

- 器具表示の指定方向に取り付ける

指定方向以外に取り付けた場合、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



禁止

- 調光器と組み合わせて使用しない

調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると火災のおそれがあります。

- ◎調光器の取り外しが必要です。

注意



禁止

- 温度の高くなるものの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

- ◎ガス機器やその排気筒の上に取り付けしないでください。



必ず守る

- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

けがのおそれがあります。

施工前のご確認事項

取付場所についてのご注意

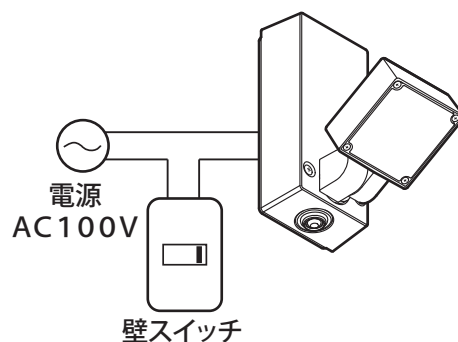
- 次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

<p>反射の強い床面のある場所</p>	<p>風などでよくゆれる植物の近くなど</p>	<p>取付高さが2.5mを超える場所</p>	<p>エアコンの吹き出し口 換気扇の近く</p>	<p>他の照明器具に近い場所 40cm以内</p>
<p>交通量の多い道路に面した場所</p>	<p>前面に障害物のある場所 (透明なガラスも含む)</p>	<p>振動の激しいポールなど不安定な場所</p>	<p>昼間でも暗い所や 夜間でも明るい場所</p>	

- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。


配線についてのご注意

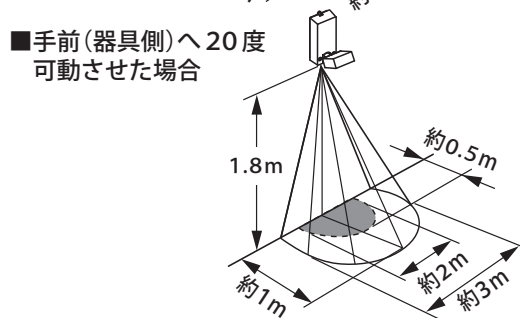
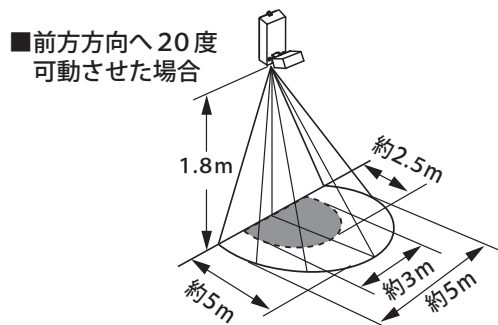
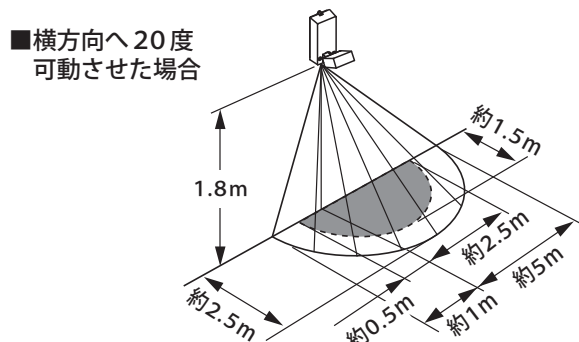
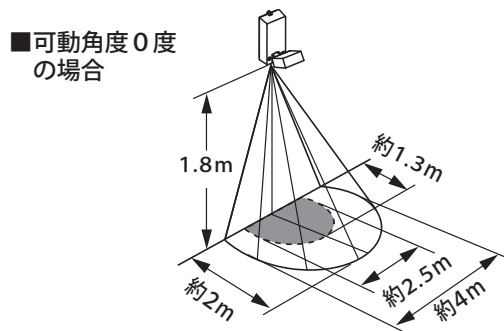
- 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)
- 点灯に異常が発生したとき、リセットできません。
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)
- 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切りにしても器具が消灯しないことがあります。)
- 一般照明器具との連動はできません。
- センサ子器を使つての多箇所検知はできません。



センサの検知範囲

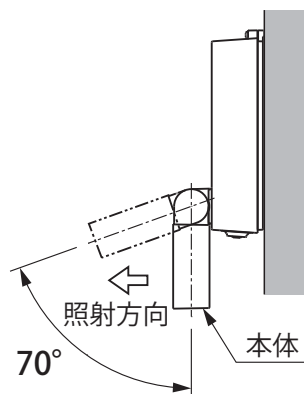
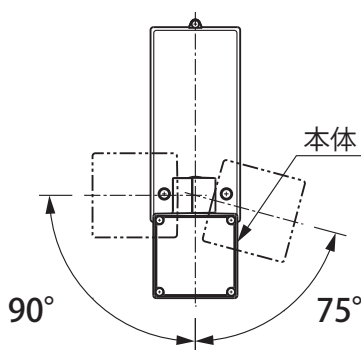
- センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます)
- 器具の取付高さ1.8m(標準)～3mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲 (注)  は別売エアアカットフード(HK279020)を取り付けた時の検知範囲です。



<ご注意>

- ・この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また静止状態の人などは検知しない場合があります。
- ・検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- ・夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- ・センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。
- ・照射方向および本体の回転角度が下図の範囲内の場合、検知範囲が狭くなります。

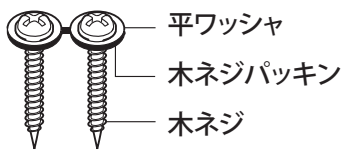


付属部品の確認

●付属の木ネジ(2本)があることを確認してください。

<付属部品>

□木ネジセット(2本)
木ネジパッキンを
切り離して使用して
ください。

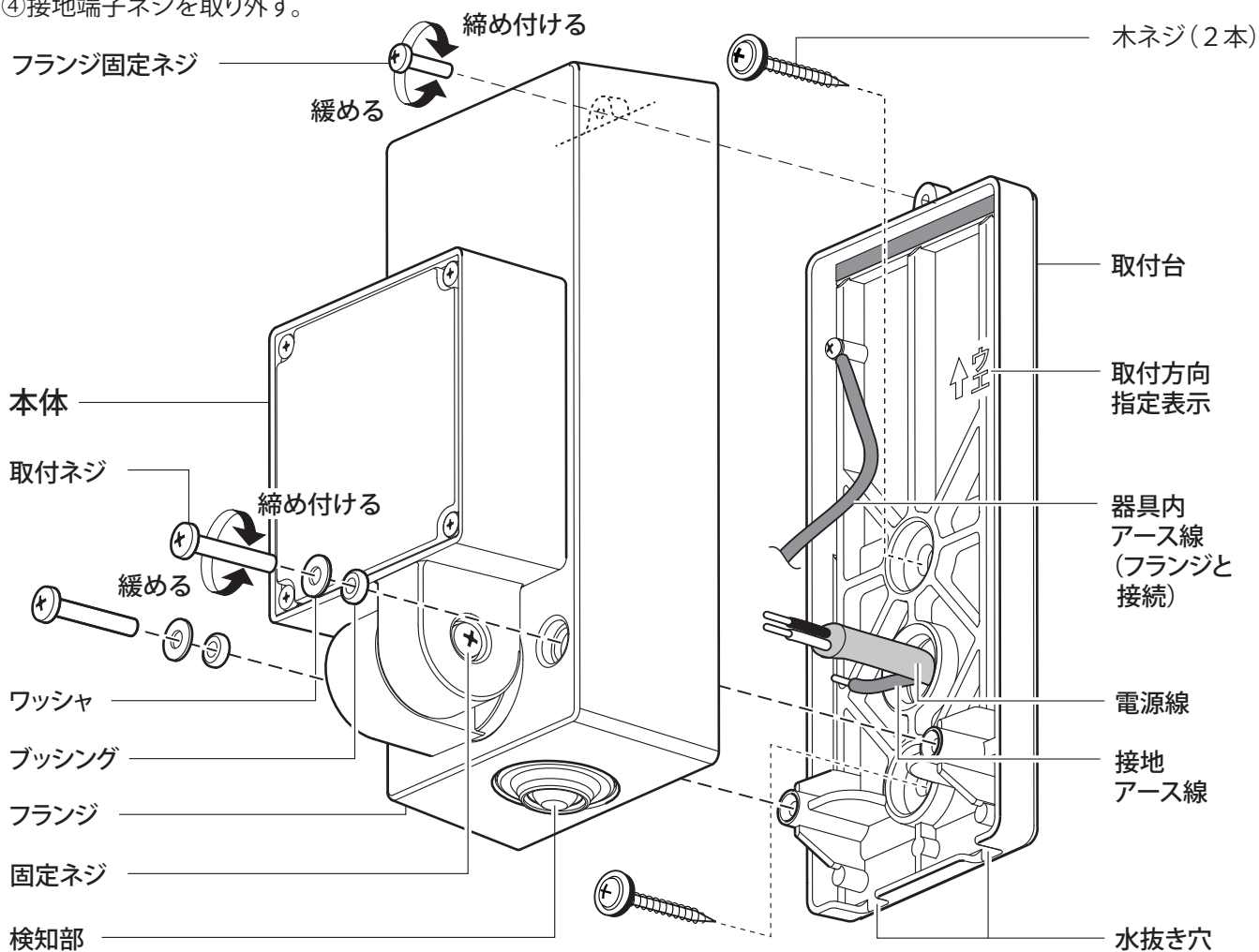


各部のなまえ

取付前のご準備

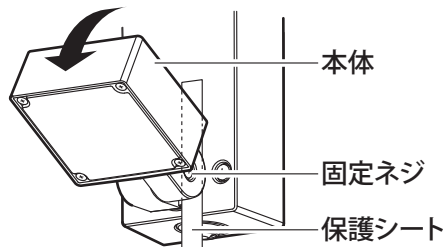
・器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

- ①取付ネジ(2本)を取り外す。
- ②フランジ固定ネジ(1本)を取り外す。
- ③フランジと取付台を分離する。
- ④接地端子ネジを取り外す。

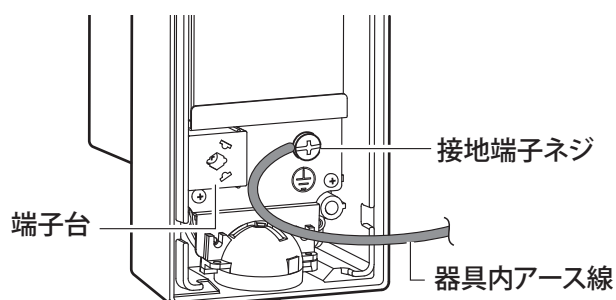


<梱包部品>

器具の取付後、固定ネジを緩めて本体を可動させ、保護シートを取り除いてください。

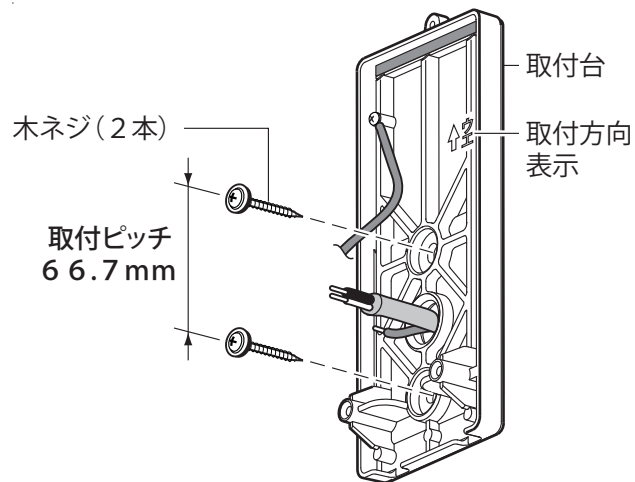


<フランジ裏面>



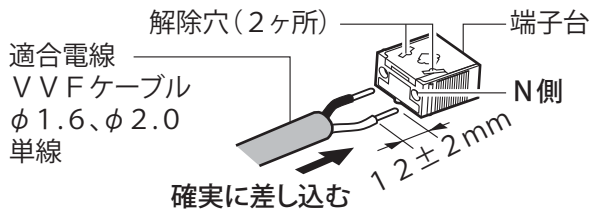
1 付属の木ネジ(2本)で取付台を取り付ける

- ・取付方向表示に従って取り付けてください。
- ・木ネジに平ワッシャ、木ネジパッキンが取り付けられていることを確認してください。



2 端子台に電源線を接続する

①電源線を端子台に差し込む



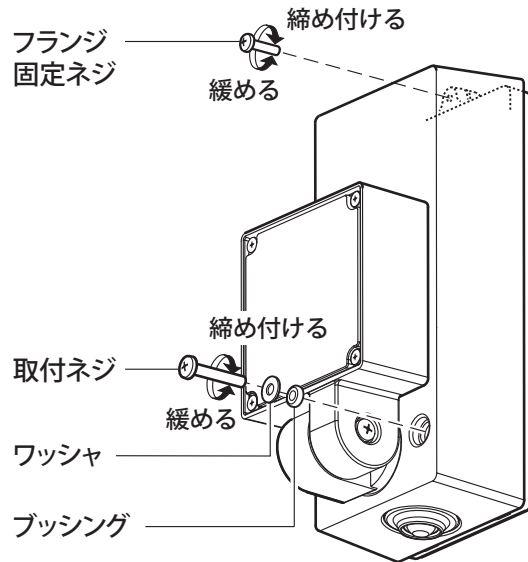
器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

②接地端子ネジから

D種(第3種)接地工事を行う器具内用アース線と共に接地アース線をフランジ裏面の接地端子ネジに取り付ける。

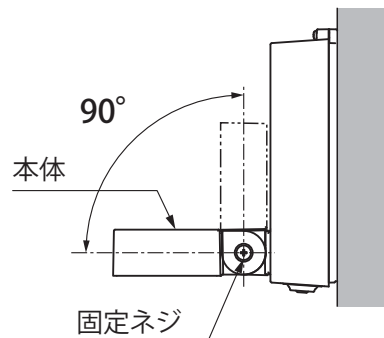
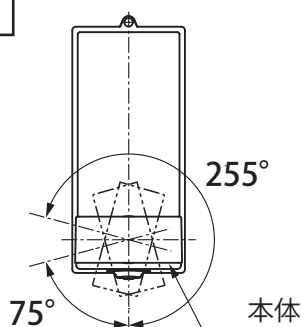
3 取付ネジ(2本)とフランジ固定ネジ(1本)でフランジを取り付ける

- ・取付ネジにワッシャ、ブッシングが取り付けられていることを確認してください。
- ・器具を手で押さえ、左右交互に取付ネジを締め付けてください。



4 照射方向を調整する

調整可能範囲



- ・上下方向の角度調整は固定ネジを緩めて本体を可動させ、調整後に固定ネジを締め付けてください。

検知範囲と点灯モードを設定する

昼間でも設定できます

●設定リモコン(別売HK9435)で設定してください。

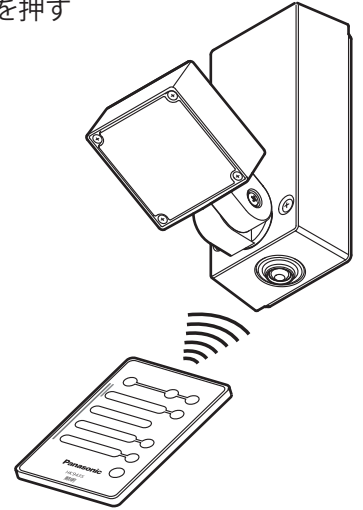
1 壁スイッチをONにする

- ・壁スイッチをONにした直後はリモコン操作ができません。
40秒間以上待ち、照明が一旦消えてから操作してください。

2 検知範囲を調整する

【手順】

- ①設定リモコンを器具に向け、自動点灯する周囲の明るさ「切」ボタン(ひと検知テスト用)を押す
 - ・リモコン信号を受信すると照明が1回点滅するアンサーバックにてお知らせします。
 - ・アンサーバック後、設定されているひと検知点灯保持時間点灯後、消灯します。
- ②器具から離れる
- ③消灯後器具に近づいて、検知範囲を確認する
 - ・昼間でも器具に近づいたら5秒間点灯します。
- ④検知範囲を変更したい場合は検知部を動かし調整する
 - ・検知部は全方向に約20度動きます。(3ページ「センサの検知範囲」参照)
- ⑤検知範囲の外に出る
- ⑥消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する
- ⑦自動点灯する周囲の明るさを設定する(出荷時は「暗い」)



3 使いかたに合わせて点灯モードなどを設定する

詳しくは取扱説明書6ページ～7ページ参照

- ご使用前に、設定リモコンで使いたい点灯モード、設定項目を設定してください。
- 出荷時には、FreePa ON/OFF点灯モードに設定しています。
- 以下の点灯モードがあります。

FreePa お出迎え点灯

- ・暗くなるとほんのり(約20%の明るさで)点灯します。
人を検知すると100%点灯します。

FreePa お出迎え点灯+フラッシュ

- ・防犯機能を備えたお出迎え点灯モードです。
設定時間以上人を検知するとフラッシュ(点滅)します。

FreePa ON/OFF点灯 (出荷時)

- ・暗い時に人を検知すると点灯します。

FreePa ON/OFF点灯+フラッシュ

- ・防犯機能を備えたON/OFF点灯モードです。
設定時間以上人を検知するとフラッシュ(点滅)します。

明るさセンサ

- ・暗くなると、人がいなくても点灯します。

